

食品衛生のひろば

vol.2 2000年9月



茨城県



食品の監視指導体制 食品の検査状況

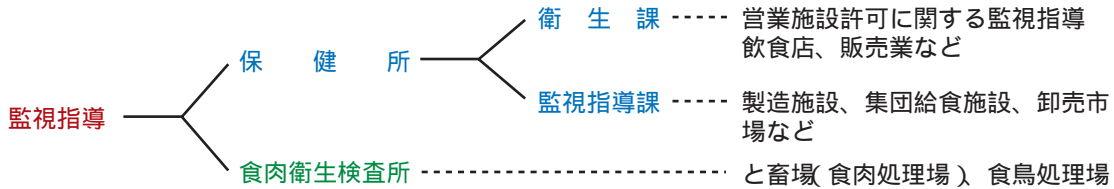
● 食品の監視指導・検査体制 ●

茨城県では、食品の安全性を確保するため、県内12保健所や食肉衛生検査所等に135名の食品衛生監視員を配置し、食品衛生法及び茨城県食品衛生条例に基づき製造・流通・販売等の各段階において営業者等への監視指導及び食品等の収去検査などを計画的に実施しています。

監視指導

食品営業施設等の監視指導は県内12保健所の衛生課及び水戸・日立・潮来・土浦・下館の5保健所の監視指導課が行っています。

また、と畜場及び食鳥処理場における監視指導は主に食肉衛生検査所が行っています。



平成11年度監視指導状況

項目	件数	
施設数	法令	61,056
	条例	10,527
	許可不要	57,932
	計	129,515
監視件数	56,960	
営業停止件数	12	
その他	2	

法令	食品衛生法に規定する営業 飲食店営業・菓子製造業・魚介類販売業など34業種
条例	茨城県食品衛生条例に規定する営業 行商・漬物製造業・液卵製造業など7業種
許可不要	法令・条例以外の食品又は添加物の製造業及び販売業。学校・病院などの集団給食施設

(1) 夏期一斉、年末一斉監視

通常の監視以外に、食中毒の発生が多くなる夏期(6月)及び食品の流通量が多くなる冬期(12月)には重点的に取り締まりを行っています。

重点監視状況

項目		夏期一斉	年末一斉
監視件数	法令	6,335	3,121
	許可不要	3,284	2,119

(2) 重点専門監視

事故発生の影響が大きい製造施設、集団給食施設等については、水戸、日立、潮来、土浦及び下館保健所の5保健所の監視指導課が県内全域について重点的・専門的な監視指導を行っています。

製造業等重点専門監視状況

項目	水戸地区	日立地区	潮来地区	土浦地区	下館地区
法令	3,120	1,108	1,224	2,588	1,848
条例	554	355	179	733	733
許可不要	64	102	35	28	63
計	3,738	1,565	1,438	3,349	2,644

(3) 市場監視

食品流通の拠点である卸売市場については監視指導課が担当しています。

公設卸売市場別施設数及び監視状況

項目	水戸	日立	土浦	
施設数	法令	67	23	39
	条例	44	18	31
	許可不要	37	11	8
	計	148	52	78
監視件数	3,552	624	1,248	



検 査

食品の検査は、水戸・土浦・下館の3保健所の検査課及び衛生研究所が行っています。



平成11年度の食品検査状況は表のとおりです。73検体が不適とされ、魚介類加工品、弁当・そうざい類などから大腸菌群が検出されるなどの事例が見られました。

食品分類別の検査状況

食品分類	検体数	不適検体数	食品分類	検体数	不適検体数
魚介類	40	1	清涼飲料水	22	1
冷凍食品	104	6	酒精飲料	15	0
魚介類加工品	111	18	氷雪	0	0
肉類及びその加工品	565	12	水	4	0
乳	8	0	缶詰、びん詰食品	22	0
乳製品	8	0	その他の食品	232	12
乳類加工品	6	0	添加物	0	0
アイスクリーム類	0	0	器具及び容器包装	312	22
穀類及びその加工品	34	0	計	1,683	73
野菜類、果物及びその加工品	191	1	上記以外の簡易試験検査	865	45
菓子類	9	0			

(1) 県内産農産物残留農薬検査状況

平成11年度は、県内産34種農産物(米、梨、メロン、トマト、なす、きゅうりなど)を卸売市場などから収去し、残留基準のある26農薬について試験検査を実施しました。検査の結果、ピーマン1検体が残留基準違反であり、関係機関と連携して生産者等の指導を行いました。

残留農薬検査結果

農産物数	検体数	違反検体数
34	68	1

調査農薬

BHC、DDT、EPN、エンドリン、クロルベンジレート、クロルフェンピホス、クロルピリホス、ジコホール、ジクロルボス、ジメトエート、ジアジノン、ディルドリン、アルドリノ、パラチオン、フェントロチオン、フェンチオン、フェントエート、ホサロン、マラチオン、イナベンフィド、クロフェンテジン、クロルプロファミン、ジフルベンズロン、エトプロホス、エトリムホス、トルクロホスメチル

(2) 畜水産食品中の動物用医薬品試験検査状況

県内産の畜水産食品をと畜場、販売店などから収去し、動物用医薬品(抗生物質、合成抗菌剤)の残留について試験検査を行いました。検査した287検体中、不適なものはありませんでした。

畜水産食品中の動物用医薬品残留物質検査

検体	牛肉	豚肉	鶏肉	鶏卵	養殖こい	はちみつ	計
検査検体数	43	114	75	36	10	9	287

(3) 輸入食品試験検査状況

増加している輸入食品の安全性を確保するために、県内に流通している輸入食品について試験検査を行いました。検査した220検体中、不適なものはありませんでした。

輸入食品検査結果

食品	柑橘類	乾燥果実	シラップ漬	ワイン	食肉	食肉製品	乳製品	冷凍食品	計
検査項目	残留農薬	漂白剤	漂白剤	酸化防止剤	抗生物質等	細菌検査	細菌検査	細菌検査	
検査検体数	25	25	25	20	25	40	10	50	220

(4) 卵及びその加工品試験検査状況

卵及びその加工品については、5検体がサルモネラの検出により不適でした。

卵及びその加工品試験検査結果

項目	検体数	不適検体数	検査項目
鶏卵	132	0	細菌数、サルモネラ属菌
液卵	130	5	〃
卵加工品	64	0	〃
計	326	5	



(5) 腸管出血性大腸菌O157試験検査状況

集団給食施設等の保存検食、そうざい、野菜果実、食肉などについてO157の試験検査を実施しました。また、併せて調理器具などのふき取り検査を実施し、衛生管理の徹底を指導しました。

食品及び集団給食施設のふき取り検査等の試験検査結果

検査対象及び検査項目	試験検体数	検査結果
集団給食施設保存検食、そうざい、野菜果物、食肉などのO157検査	291	全て不検出
調理器具等のふき取りによる大腸菌群、一般細菌数の検査	1,320	不適合 187件

(6) 環境汚染物質及び環境ホルモン試験検査状況

環境汚染物質のPCB(カネミ油症)、有機水銀(水俣病)、TBTO(漁網防汚剤)について、県近海及び湖沼の魚介類を対象に毎年検査を行っており、全て不検出でした。

また、集団給食施設等で広く使用されているポリカーボネート製食器について、環境ホルモン(内分泌かく乱化学物質)のビスフェノールAの溶出が心配されていることから安全性の確認のため溶出試験及び材質試験を実施しました。

結果は、溶出試験で最大で0.11ppm、材質試験で最大22.3ppmであり、問題はありませんでした。

魚介類の水銀・PCB・TBTO試験検査結果

種類	検体数	検査結果
淡水魚介類	8	すべて不検出
近海魚介類	22	すべて不検出

淡水魚の採取：霞ヶ浦・北浦、潤沼、利根川下流域
コイ・ワカサギ・ハゼ・シジミ

近海魚の採取：平潟、久慈、那珂湊、大洗、波崎沖
イワシ・サバ・ヒラメ・カレイ・アナゴ・チダイ・メダイ・
スズキ・ホウボウ・エビ・ハマグリ・イカ



ポリカーボネート製食器試験検査結果

試験	検体数	違反検体数	基準(ppm)
溶出試験	26	0	2.5以下
材質試験	5	0	500以下

食品衛生のひろば Vol.2 (2000.9月)

茨城県保健福祉部生活衛生課

茨城県水戸市笠原町978番6 ☎029-301-3424



茨城県